

『一人の笑顔のために』

PTA美化作業お世話になりました。



8月30日(日)朝7:00からの美化作業のおかげで、学校が大変きれいになりました。写真のように、最後は重機まで準備していただき、グラウンドを整備していただきました。9月13日(日)の小中合同運動会に向けて、きれいなグラウンドで練習が開始できます。大変、ありがとうございました。



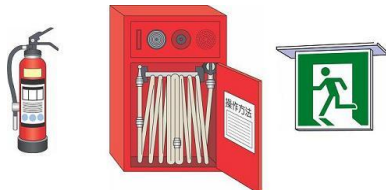
教育実習生を紹介します。

ふくやま みなみ
福山 文奈美 先生

です。本校卒業生で、和水町平野在住です。8月31日(月)～9月18日(金)の3週間、英語の先生として実習をしていただきます。九州ルーテル学院大学人文学部人文学科こども専攻児童教育コースの4年生です。特技がダンスということで、大学でもダンス部に所属されているそうです。生徒たちと接する中で、多くのことを学び、貴重な体験を通してたくさんの思い出をつくっていただけたらと思っています。

9月1日は防災の日

台風・高潮・地震などの災害に対する認識を深め、平時の備えについて確認する日。大正12年(1923)9月1日に関東大震災が起きたこと、また、暦の上で台風の多い二百十日に当たることから、昭和35年(1960)に制定された。



以前勤務していた学校で、火災報知器のボタンが故意に押され、非常ベルが鳴り響いたことがあった。

「あの時、助けられなかった命を、次の災害では助けられるようにしたい。」そんな願いで活動されている方々や震災を体験され、今でも震災の恐怖や愛する人をなくした悲しみを抱えながら生活しておられる方々がその場に居られたら、どんな思いになられたらうか。

自然災害をなくすことはできないが、被害を減らすことはできる。

非常ベルはそのためのものだ。「減災」は私たち一人ひとりの課題である。